

## 協会だより(第3号)

一般社団法人 栃木県バスケットボール協会

〒320-0074 宇都宮市細谷町674-3 MK昌和事務所2F  
TEL・FAX028-643-7117

### 1 定時代議員会報告(2018.6.30:TKCいちごアリーナ)

平成30年度定時代議員会が開催されました。主な内容は、平成29年度の事業報告と収支決算書が審議され承認されました。また、平成30年度の事業計画と収支予算書も報告されました。

今年度の特徴は、栃木県バスケットボール界を統轄する唯一の団体として、ガバナンスの強化に努めることにあります。ガバナンスの強化とは、組織、事業、財務の実態を把握し管理可能な状態を構築することになります。

組織面では、今年度スタートした県社会人連盟の充実、U12・U15・U18カテゴリー一部会の組織化、ユース育成センターの構築等が課題となります。

事業面では、U15の地域クラブ・BREXユースクラブに登録した選手の競技環境の整備、各年齢層におけるリーグ戦の構築、2022年開催の「いちご会とちぎ国体」に向けた選手強化、特に、来年の茨城国体からU16となる少年種別の発掘・育成・強化があり、これらを支えるのが財務となります。

財政面では、協会の事業収入の増収を目指し、スポンサー企業の獲得を課題と位置づけ、ブレックスとスポンサーセールス代行業務委託契約を結ぶことになりました。今年度の予算書は、賛助会からの寄付とスポンサー収入を見込み、事業の拡大充実を掲げ組まれています。

今年度は、役員改選の年となり、新役員が承認されました。改選については、定款により、各連盟より推薦を受けた代議員及び学識経験者として推薦を受けた代議員の中から理事を選任し、理事の中から役員を選任することになっています。

今回の役員改選の特徴としては、ガバナンス強化を推進させるため、前期役員が引き続き役職を担うこと、2022年とちぎ国体開催に向けた準備に対応するため特任副会長を選任したこと、また、少年種別育成・強化のため特任理事を選任したことにあります。

役員一同「強い栃木」実現に精進しますので、一層のご支援、ご協力をお願いします。

### 2 大会結果

#### (1)平成30年度第1回栃木県社会人バスケット連盟オープントーナメント大会(4/8~5/13)

この大会は、社会人連盟の記念すべき第1回目の大会で、過去には一般選手権大会として歴史ある大会です。(兼:国体成年の部選手選考会)

男子:優勝 piranhas 2位 白鷗大学  
3位 BREMEN 4位 GREAT DIPPERS  
女子:優勝 TBC 2位 栃銀クラブ  
3位 女盛 4位 SCRATCH

#### (2)平成30年度第1回栃木県社会人レディースバスケットボール交歓大会(4/14)

この大会は、昨年まで全国及び関東ママさん大会の県予選会として行われていたものです。家庭婦人連盟が社会人連盟に統合されエンジョイ部となり、全国大会が東・中・西地区交流大会に変更されました。栃木県では東地区交流大会への参加チームを決める交歓大会となります。

参加チーム: BBS、EARLY、栃木オールスターズ  
烏山マミーズ、Berry's那須、マロニエMC  
烏山ベリーズ、雀クラブ、FMC.AQUA  
足利クラブの10チーム

東地区交流大会(小田原)へは、栃木オールスターズが出場することになりました。

#### (3)県高校総体兼関東高校県予選会(5/5~13) 決勝リーグ戦の結果

男子【4チームが関東大会(宇都宮)へ出場】  
優勝 宇工(3勝) 2位 文星芸大附(2勝1敗)  
3位 宇短附(1勝2敗) 4位 小南(3敗)  
女子【2チームが関東大会(川崎)へ出場】  
優勝 文星女(3勝) 2位 宇中女(2勝1敗)  
3位 白鷗(1勝2敗) 4位 矢中央(3敗)

#### (4)県中学校春季大会(6/1~3)

男子:優勝 一条中 2位 豊田中  
3位 清原中 4位 氏家中  
女子:優勝 陽南中 2位 足利西中  
3位 明治中 4位 佐野西中

### (5)インターハイ県予選会

男子:優勝 文星芸大附 2位 宇工  
3位 宇短附 4位 小南

粘り強いディフェンスで宇工の猛追を振り切った文星芸大附高が82-77で2年連続17回目の優勝を果たした。



女子:優勝 矢板中央 2位 宇中女  
3位 文星女 4位 白鷗

4Qまで1ゴールを争う展開となったが、矢板中央が74-69で宇中女を破り悲願の初優勝を飾った。



(6)天皇杯・皇后杯栃木県代表決定トーナメント大会  
7/15・22の二日間をかけて、天皇杯・皇后杯の  
1次ラウンドに出場する栃木県代表決定トーナメント  
大会が開催されました。

男女ともに、白鷗大学(関東学生所属)が2連覇  
を果たし、9/15～17に仙台市で開催される1次ラ  
ウンドに出場することが決まりました。

男子:優勝 白鷗大学 2位 Piranhas  
3位 Great Dippers  
女子:優勝 白鷗大学 2位 TBC  
3位 女盛

(7)県中学校総合体育大会(7/27～29)

男子は、一条中学が厳しいマークでボールを奪  
い、速い攻撃から安定したゲーム展開を見せ、48  
年ぶりの優勝を果たした。

女子は、陽南中が、粘る一条中と接戦が続く緊  
迫したゲームの中、終了間際に突き放し、四連覇  
を達成した。

男女ともに優勝・準優勝チームは、8/7～9に前  
橋市で開催される関東中学大会に出場し、8/22  
～25に山口県で開催される全国中学の出場権  
獲得を目指すことになった。

男子:優勝 一条中 準優勝 清原中  
3位 豊田中 4位 鹿沼東中  
女子:優勝 陽南中 準優勝 一条中  
3位 足利西中 4位 佐野西中

3 3×3の普及について

2020年東京オリンピックより、3×3バスケットボ  
ールが正式種目に採用されたことは、我々バスケット  
ボールを愛好する者にとって、この上もなく嬉しい  
ニュースとして伝わりました。

FIBAでは、2018.7.29に宇都宮で開催されたワ  
ールドツアー宇都宮マスターズより、3×3の標記はそ  
のままにして、「スリー バイ スリー」から『スリー  
エックス スリー』と呼称を変更しました。

栃バ協としては、記念すべき名称変更の地とし  
て、3×3の普及に努めたいと思います。

現在、3×3の普及については、3×3委員会を中

心に進められています。この委員会は、3年前に当時の  
クラブ連を中心にして発足しました。

経緯は、その年の日本選手権OPENの部とU18の部  
に出場する栃木県代表チームを決める大会の初めての  
開催にあたり、クラブ連が積極的に運営に当たって  
くれたことにあります。その次の年、この方々を中心  
にして、関係する連盟より委員を推薦していただき、  
3×3委員会が発足しました。

委員会の方針として、今年度からU12の普及に  
努めることが決まりました。



6.30に開催した3×3ドットエグゼゲームイン宇都宮で開催した  
U12の前座試合

U12の普及を図ることにより、他のカテゴリーの普  
及を手掛けていくというものです。

手始めとして、6/30・7/1に開催された「3×3ド  
ットエグゼゲームイン宇都宮」の前座試合として、U12の  
大会をオリオンスクエアで行いました。30°Cを超える  
猛暑の中、子どもたちの歓声にオリオン通りを行きか  
う人たちは、立ち止まりゲームに見入っていました。

7/18と7/22には、宇都宮市教育委員会から要請  
があり、今泉小学校と駅東公園において3×3の講  
習会及び体験イベントを行いました。今泉小学校  
(7/18)では、今年度宇都宮市が校庭にバスケットリ  
ングを設置し、3×3用のボールを配給するという贈  
呈式の一環として行われ、6年生がブレックス3×3  
の斎藤選手や荒井指導コーチの指導を受け、ゲー  
ムを楽しみました。また、駅東公園(7/22)では、宇  
都宮市内に8つある総合型スポーツクラブの小学

生を対象とした体験講習会でした。残念なことに、  
熱中症防止のためゲーム体験は中止となりました  
が、シュートやフリースローゲーム等楽しみました。



7/28・29には、今年で3回目の開催となるワ  
ールドツアー宇都宮マスターズの実行委員会の一員と  
して、企画・イベント運営・大会のTO・審判等に協  
力しました。特に、TOについては、FIBAから高く評  
価されました。



ワールドツアーにおいて実施したU12の前座試合の優勝チーム

委員会の今後の活動は、U12・U15・U18・OPENの  
県選手権大会の運営と、今年度からJBAが提唱した  
3×3の日(3/3)のイベントの開催があります。

U18・OPENの県選手権は、全日本選手権の出場を  
かけ、より強いチームを選出するため、強いチームが  
参加する大会とならなければなりません。

3×3の日のイベントでは、より多くの人に人たちに3×3  
を楽しんでもらえるイベントにしなければなりません。

3×3委員会では、バスケットボールが、より多くの  
人たちに、身近なスポーツとして楽しんでいただける  
よう、普及活動を続けていきます。